

けやき通りの楽しいみちづくりの願い（案）

楽しみながら行き交う人たちを増やしませんか



けやき通りの会

1. けやき通りの目標

今回、けやき通りの会での議論をもとに、けやき通りを楽しみながら行き来する人たちを増やし、通りとしての魅力を高めるための、「通りの目標」および「けやき通りの姿（将来像）」についての案をまとめました。

■通りの目標

行き交う人たちが通りで楽しみ、まちを彩る けやき通り

けやき通りの位置と資源を活かし、人が安全で安心して楽しく歩いていくことができる通りにしていくことで、人々が通りを楽しみ、その様子が通りを彩るような通りにしていくことを目標とし、また、通りのにぎわいがまち全体に広がっていくようなまちのシンボルロードとしていきたいと思います。

■けやき通りの姿（将来像）

○誰もが安心して行き来ができる通り

けやき通りを行き来する人にとって、車の通行など、交通安全などの面に気づかうことなく、安全で安心して通れる通りをつくりましょう。

○駅から訪れた人が、まちの雰囲気味わえる通り

豊中駅北側の玄関口として、今ある通りの雰囲気を大切にしながら、まちの入り口にふさわしい雰囲気を醸し出す通りをつくり、そうしたまちの雰囲気を、はじめて豊中に訪れた人も楽しむことができる通りをつくりましょう。

○通りを行き交う人たちが、沿道の店舗や通りを思い思いに楽しんだり、巡ったりできる通り

沿道の店舗を中心に、店舗を利用したりウィンドーショッピングをするなどしながら、思い思いに楽しめ、利便性の良い通りであるとともに、目的をもって訪れる場所にしていきましょう。

また、通りを眺めながら歩いて楽しい雰囲気をつくるために、通りのまちなみを整えるためのルールについても考えていきましょう。

○まちの晴れの場として、様々なにぎわいがみられ、華やいだ雰囲気のある通り

豊中のまちの中心として、また、まちの晴れの場として使われることで、商業としてのにぎわいだけでなく、様々なまちのにぎわいがけやき通りから広がっていく通りをめざしましょう。また、歩いている人をはじめ、まちの人たちにとって、通りを訪れる目的が増える工夫を仕掛けていきましょう。

2. 通りの活かし方・つくり方（取組み）

けやき通りの将来像（案）を実現するための取組みについてまとめました。

（１）2mのセットバックによる連続した歩行者空間

- 2m のセットバック空間を歩行者空間として確保することにより、安全性の向上だけでなく、沿道の店舗を楽しみながら、通りを行き来できる通りをめざしましょう。
- セットバックを実現していくために、建替の際には建物の共同化などの手法についても検討しながら、2m の歩行者空間の確保をめざしましょう。



▲セットバックによる歩行者空間の確保

（２）通りの賑わいの一体性

- けやき通りが賑わい、通りの中で楽しさを連続させるため、1階部分に店舗を配置するなど、通りの賑わいをつないでいくことを検討しましょう。



▲通り沿いのオープンカフェ



▲通り沿いを使った賑わいイベント

（３）通りの安全な通行方法

- 将来的には車道の一方通行化やモール化など、歩行者がより安全に楽しく豊中駅前を回遊できるよう地域のみんなで考えましょう。



▲セットバック空間の演出（03年豊中花灯路）

（４）通りの景観づくりのルール

- 歩行者空間の利用ルールや、通りの沿道景観のためのファサードの統一など、まちなみづくりに関わるルールを考えていきましょう。



▲協議会によって彩られている沿道の空間（こもれびガーデン）

（５）通りのうるおいを保つみどりの確保

- 通りのうるおいの空間を保つため、緑の空間づくりについても地域が一緒になって取り組んでいきましょう。

（６）通りを演出する仕掛けづくり

- 通りが楽しい、通りたいてもらえるようなイベントを定期的実施したり、時には歩行者天国にしたりしながら、通りの内外で通りを楽しむ演出を仕掛けていきましょう。



▲ガラス面による内部との連続性のある店舗

3. 取組みを進めていくために

けやき通りでは、大規模開発が進み、近い将来大きく姿を変えていきます。今回けやき通りの会で検討した内容及び取組みをより具体的に進めていくためには、地域の皆さんと望ましいけやき通りの姿を共有し、実現に向けたルールづくりなどの検討を進めていくことが重要だと考えます。

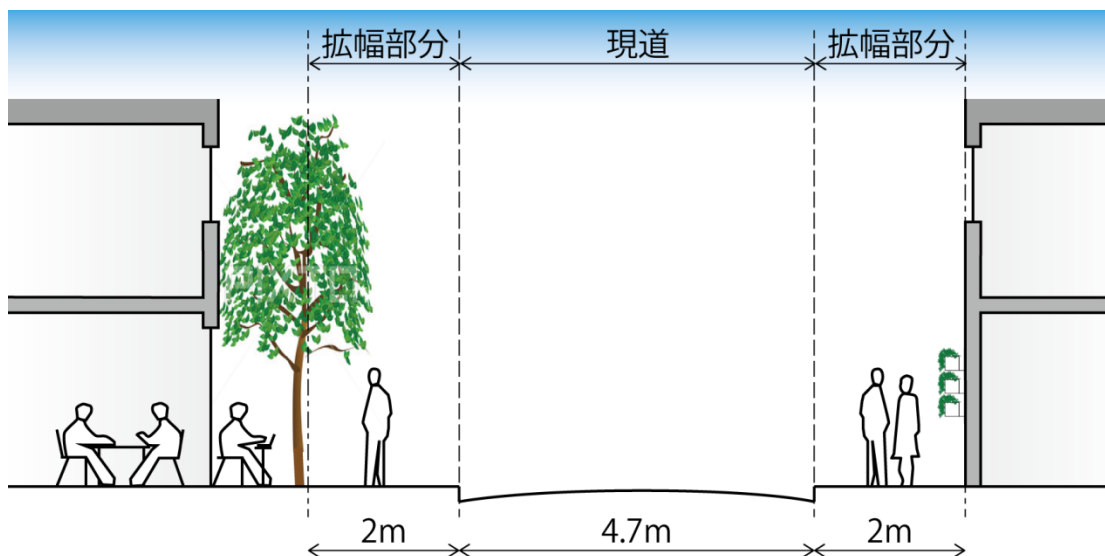
実現に向けては、けやき通りのルール（整備・活用方針など）の運用や実施していく体制なども重要です。

○取り組みの実現に向けたスケジュール

	短期	中期	長期
にぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 通りでの定期的な市場などの開催 音楽や現代アートなどの各種イベントの開催 時間を限定した歩行者天国 など		
歩行者空間の確保		<ul style="list-style-type: none"> 沿道で建て替えを行う際に、2m セットバックの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者にやさしいにぎわいのあるけやき通りの実現
通りの通行方法		<ul style="list-style-type: none"> 一方通行化の検討 モール化の検討 	

○イメージ図

現道から拡幅した空間を中心に、歩行者のための空間を大切にしたい通りとしていきましょう。加えて、沿道の方々も一緒になって、通りを演出する仕掛けを考えましょう。



4. けやき通りの位置づけ（まちづくりの経緯）

豊中駅前地区では「豊中駅前まちづくり構想」*1 を策定して以降、「ゆっくり楽しく歩き回れるまち」の具体化に向けての取り組みを一步一步進めて参りました。その一つとして、平成 22 年度には「豊中駅前景観まちづくり作法集」を作成することなどに取り組んできました。

けやき通りにおいては、ここ数年の間に沿道で大規模な建替えが発生するなど、通りとしての姿が大きく変わろうとしています。

けやき通りは、豊中駅に面し、まちと行き来する北の玄関口としての役割とともに、沿道にまちの歴史を感じさせる施設であるホテルや新免館、長屋門、大きくそびえるかやの木などが立地し、秋には“太鼓”が曳航されるなど、まちのシンボリックな通りとなっています。

そうしたシンボリックな通りでの開発・建替えなどによる通りの変化は、けやき通りだけでなく、まち全体としての変化にもつながります。このため、通りの建替えや変化に合わせて、通りの将来のビジョンを持ちながらまちのルールとしていくことが必要と考えます。

本願い（案）は、まちづくり構想における、けやき通りの「楽しいまちづくりの願い」として、沿道のあり方や使い方などをまちとして共有していきたいと考え、けやき通りの会を結成し、検討を重ねながら、メッセージとしてまとめたものです。



*1 豊中駅前まちづくり構想：平成 7 年に協議会が作成。この「まちづくり構想」を基本として、まちの将来のあるべき姿（将来像）を地域の人々と共有し、まちづくりを進めていく基本としている。

5. けやき通りの現状

(1) 安全に通りを歩ける場所が限られている

- けやき通りは、道幅が狭く、マンションの開発時の2mのセットバックによって歩行者空間が実現しているところもありますが連続性が確保されず、歩行者が安全に行き来できる通りになっていません。



歩道部分が連続していない

(2) 通りの魅力が通り全体としてつながっていない

- けやき通りには、新免館や長屋門といった歴史を感じさせる施設などが立地しています。しかし、沿道の店舗も含め、通りとしての景観の整ったまちなみ（みちなみ）のつらなりにはなっていません。通り全体の魅力づくりが求められています。



新免館

(3) 通りのにぎわいが限定的である

- けやき通りは、豊中駅の北の玄関口にもあたる通りであるとともに、“だんじり”のルートになっているなど、豊中駅前のシンボルである通りです。しかし、立地する通りの店舗だけでなく、通りで行われる活動によるにぎわいづくりが限定的だといえます。



だんじりが通る様子

(4) まちが大きく変化しはじめている

- けやき通りをはじめ、豊中駅前は建替えや開発が活発化し、まちが大きく変化しはじめています。この動きの中で「まちづくり構想」の具体化に向けた、私たちの取り組みの真価が問われています。



国道176号との交差点

(5) 豊中駅前の歩行者空間づくりの重要ルートである

- 豊中駅の北の玄関口にあたるけやき通りは、車だけでなく、歩行者にとっても重要な通りです。そのため、駅周辺の歩行者ネットワークの中でのけやき通りの役割を考えていく必要があります。

3. けやき通りの資源

(1) 沿道の歴史的資源

けやき通りには、新免館をはじめとして、長屋門や蔵などのまちの歴史を感じさせる施設などが建っています。



新免館



長屋門



ホテルアイボリー内の蔵



能勢街道の道標

(2) 賑わい資源

通りには、ホテルアイボリーやダイエーのほか、専門店舗などがあります。

しかし、大きな土地利用の転換でマンション化が進み、今後通りの賑わいが弱まることが懸念されます。



ホテルアイボリー

(3) 自然資源

まちづくり構想にも記載のある、けやき通りのシンボルツリーとも言えるホテルアイボリー敷地内に大木（かやの木）などが残っています。

また、ホテル敷地内のかやの木は、市の保護樹木にも指定されています。



かやの木



駐車場の中に立つ大木

(4) 祭り・イベント

けやき通りは、秋に行われる“太鼓”の曳航コースになっています。また、以前には、灯籠をおいた「豊中花灯路」も開催されました。



豊中花灯路（03年）

(5) 歩行者空間の確保の協力

けやき通りに面する大規模敷地の開発（ジオ 1300、ホテルアイボリー（ダイエー）では、「まちづくり構想」や「基本方針」に基づき、市の条例等によって、建物壁面のセットバックの依頼が行われました。ホテルアイボリーや開発業者の協力によって、歩道部分のセットバックが実現しようとしています。

○市の条例等

- ① 豊中市土地利用の調整に関する条例・施行規則
- ② 豊中市開発行為等に関する手引き



沿道の大規模開発

けやき通りのみちづくりのメンバー・応援団

けやき通りの楽しいみちづくりの願い（案）【平成 26 年 3 月作成】

豊中駅前まちづくり推進協議会 豊中市本町 1 丁目 12-25

TEL・FAX：06-6858-6190

Mail：matidukuri@nifty.com